

## シリーズ「しらおいの樹木」

昨年度までは、「しらおいの鳥」シリーズを掲載しましたが、今後は当面「しらおいの樹木」を掲載します。

北吉原に在住の小林光男さんが撮影した、萩の里自然公園の写真をお借りしました。

「ナニコレ珍百景」でも放映されたものも含まれています。洒落好きの小林さんのコメントもいただいています。

どう蛇～！！



萩の里には、色々な形をした木や木片やらが沢山あります。これをどう見るか楽しむ私には材料がありすぎます。

同じものを目にしても次の時には別のことばに変わってます。これもそのひとつです。

気味が悪いか？気味悪く見る「君」が悪ってね。

どうじゃ、このダジャレ、悪いかな？

いまの町に思いを...

## 変わりある自然

6月は梅雨と伝えられますが、北海道は梅雨の時期は無いが、海岸線約25Kmに面することから、濃霧が発生する季節でもある。地方によっては「海霧」(ジリ)というようです。岬にある灯台は、行き交う船舶に濃霧で見えない岩礁や陸が近いことを知らせる「霧笛」を鳴らして知らせていましたが、今は聞かなくなったように思います。学校の校庭の中庭の大きなナラの木からは、カッコ～、カッコ～の鳴き声、裏山からセミが一斉に鳴きたてる声は「蝉時雨」とも言われ、町には自然の声がいたるところで気づかされます。

これからキャンプシーズン、ポロト湖畔を散策しながら水面が岸辺の橋げたに当たり心地よい音が響いています。夜になるとあたりは真っ暗の中にカエルの声が聞こえ、この地にアイヌの生活文化と歴史を創造させ立ち尽くしてしまう空間に、ふるさと白老の音を聞いてみました。



問い合わせ先:生活環境課 環境グループ 82-2265

白老町環境町民会議

## かんきょう

初夏号(第31号) 2020年6月22日発行



## ハマナス (ヨコスト海岸)

### 会 員 募 集

白老町環境町民会議では会員を募集しています。  
環境に関する皆さんの意見・要望をお待ちしています。  
※ 詳細は、事務局までお問合せください。

☎ 82-5110

編集・発行

### 白老町環境町民会議

住 所 白老町大町1丁目1番1号

電 話 82-5110

FAX 82-4253

Eメール katudou@shiraoi-tc.jp

Think Globally Act Locally

(地球規模で考え、足元から行動せよ)

白老小学校校長 熊谷 誠

環境問題について大人が考える時、また、子どもたちへ指導する時に大切なのは、環境を守る行動はそもそもどうして必要なのかを理解することを考えている。環境問題に対するその重要な考え方がThink Globally Locallyである。

例えば、7月からレジ袋が有料化されるがそのおもとになっているのは、世界的な海洋プラスチック汚染への懸念。大量のプラスチックゴミは分解されぬまま自然環境、生物(人間も含む)などにおおきな影響を及ぼすとのこと。身近なところ(Locally)で考えるならばゴミの正しい分別、ポイ捨て、マイバッグなどにつながる。

地球温暖化への対応として工場や自動車、家電などからの温室効果ガスの排出抑制の取組みが行われているが、森林の整備・再生など豊かな自然を守ることも温室効果ガスの減少を支えている。では、豊かな自然とは何なのか。その1つに健全な生態系の維持があげられ、自然の保全、再生・拡大の取組みが様々行われている。現在、外来種生物の問題も大きく取り上げられている。気軽に生物を飼育し、本来存在してはいけない生物を持って余したのか自然界に放つ無責任な行動が日本の貴重な在来種を脅かしている。生き物を飼育することは、命を責任もって預かることだと子どものうちから伝えていく必要がある。環境教育はこうした一見個別の課題のように思える取組みをつなげて考える思考も大切であろう。

子どもたちには、環境を守るための自分たちの行動は、たとえ小さなこと(Locally)であってもそれは大きな地球環境問題(Globally)の解決につながっていることを伝えていきたい。そして、我々大人は環境保全に関して、常に子どもの範となる考え方と行動をしたいものだ。

## 全体会議は書面会議に

令和2年度「全体会議」は書面会議になりましたが、案件はすべて承認され、副会長には新たに桑田正博氏が選任されました。

令和2年度の主な事業は下記の通りですが、新型コロナウイルスの状況によっては変更が生じるかもしれません。毎月開催の「事務局会議」で協議し、詳細が決まり次第会員の皆様へお知らせします。

### ～令和2年度の主な事業～

- ・例年開催している夏の海塾は秋に代替案で対応予定です。
- ・クリーンアップ事業(ヨコスト海岸清掃)  
8月29日(土)9:00～10:00
- ・外来生物駆除等の活動  
8月29日(土)クリーンアップ終了後
- ・環境セミナー(環境講演 他)  
11月28日(土)
- ・機関紙(かんきょう)は年4回発行予定



昨年度の環境セミナー講演会

## 〈外来種を考える〉

### フランスギク

草木の緑色が濃くなる6月、道端を白く飾っているフランスギク。法面を雪のように白くしたり、小さな街路樹を追い越したりするすさまじい繁殖力です。勝手に民家の庭にも侵入。

江戸末期、ヨーロッパから観賞用に持ち込まれ、

寒さに強いので北海道にも渡り、ところどころで大群落になったそうです。

法面工事の緑化事業にも使われ、そこから広がったこともあったでしょう。

あまり多すぎて他の草花を駆逐してしまう恐れがあり、「北海道指定外来種」とされています。

マーガレットによく似ていますが、それはフランスギクの改良種です。

